

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1961
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.54, No.8 (1961. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19610801--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田学会雑誌

1961年 8月号

論 説

- 一九六〇年度の国税構造が持つ
 税収の所得弾力性および限界租税函数……………高木 寿一 1
- 社会的価値判断と政策プロセス……………加藤 寛 25

資 料

- 十七世紀フランス農村の構成……………渡辺 國廣 45
 —一つの事例—
- 武蔵国東部における藍業……………佐々木陽一郎 56
 —武蔵国葛飾郡西大輪村白石家の場合—

研究ノート

- イギリス産業革命史研究についての覚え書……………飯田 鼎 84
 —産業革命史学へのひとつの提言—

書 評

- 海道進著『社会主義企業経済学』……………平野 絢子 101
- 白杉庄一郎著『独占理論の研究』……………井村喜代子 106
- 小林謙一著『就業構造と農村過剰人口』……………高山 隆三 113

新刊紹介

54巻 **8**号

昭和25年10月24日
昭和26年2月13日
昭和26年8月1日
昭和26年10月13日
第三種郵便物認可
発行(毎月)1日
九〇三号

昭和25年10月24日
昭和26年7月1日
第三種郵便物認可
発行(毎月)1日
九〇三号

三田学会雑誌

昭和三十六年七月号

定価 金九〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 54, No. 7

July, 1961

CONTENTS

Über die sogenannte historische regelmäßige oder gar notwendige Verbindung von Benefizium und Vasallität……………	H. Uono	page 1
Some Problems on the Study of History of German Working Class Movement —A Critique on Walter Bartel; Die Linken in der deutschen Sozialdemokratie im Kampf gegen Militarismus und Krieg, 1958……………	K. Iida	25
The Seignior in the Seventeen Century France; A Regional Example……………	K. Watanabe	44
Survey of Academic Circles On the Theory of the Co-operative……………	A. Hirano	55
Book Reviews		
The Theory of Public Finance, by R. A. Musgrave……………	I. Okuma	64
William L. Shirer; 'The Rise and Fall of the Third Reich, translated by Isamu Inoue……………	K. Iida	67
The Reformation, by Tomoo Matsuda……………	M. Terao	71
The Rise of the Marginal Utility School 1870-1889, by R. S. Howey……………	E. Mochimaru	77
Economic Growth and Balance of Payments, by Rokuro Tsuchiya……………	H. Fukami	81

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)
Editorial communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
Keio University,
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Price 90 yen

新刊紹介

- 渡部正一著『日本近世道德思想史』……………島崎隆夫 118
モラゼ著『経済史入門』……………渡辺國廣 119
湯村・竹岡訳
大原總一郎著『化学纖維工業論』……………佐藤芳雄 120
カール・マルクス著
マルクス=エンゲルス全集訳『資本論』(第一分冊)……………飯田裕康 120
刊行会
コッター社版『マルクス著作集』(全八巻)……………飯田裕康 122

一九六〇年度の国税構造が持つ

税収の所得弾力性および限界租税函数

高木寿一

一、問題提出の意味

現代の財政政策理論の一つの課題として、Built-in-Stabilizerの問題がある。

この課題については、マスグレーブ(Musgrave)の研究そのほかがある。わが国において、この理論を簡明に提示し検討しているすぐれた一例は、林榮夫教授の「ビルト・イン・スタビライザー」(昭和三五年三月)であろう。

林教授のこの著書はビルト・イン・スタビライザーの理論の理解を進めるに極めて有益であって、私は殊に若い読者に推薦している。

ビルト・イン・スタビライザーは、その国の財政構造のうちに、経済変動ないしは景気変動を自動的に調節する作用―むしろ緩和する作用を持っている―その作用を現わす要因を内蔵している―その作用はいかなる過程を通じて実現するのかという課題として、私は関心を持っている。

一九六〇年度の国税構造が持つ税収の所得弾力性および限界租税函数